



放射線に関わるリスクコミュニケーション活動状況

概要

- ・環境省では、環境中に放出された放射性物質の対策を進めると同時に、放射線に関する基礎的な情報の発信や地域の環境再生への取り組み、放射線リスクコミュニケーションの取り組みを実施しています
- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター、環境再生プラザを主な拠点として活動しています

これまでの活動状況

8月31日時点

項 目		2025年度 8月分	2025年度 累 計
■ 放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター (単位：回)			
・自治体職員や相談員等の活動の支援	研修会	0	3
	専門家派遣	0	0
・住民の放射線に関する理解醸成の支援	住民セミナー	0	1
	車座意見交換会	3	5
	放射線教育の支援	1	40
■ 環境再生プラザ (単位：回)			
・専門家派遣	自治体など	1	6
	小中学校など	3	16
	その他	4	13
・移動展示		3 (4日)	16 (17日)
■ その他 (WBC単位：日) (ガンマカメラ単位：台日)			
・内部被ばく検査 (WBC)		4	14
・ガンマカメラを活用した放射線測定		2	3

(放射線リスクコミュニケーション相談員支援センター)

放射線による健康不安等に関する各種相談対応、専門家派遣、研修会やセミナーの開催、線量測定等の支援を行っています

◆車座意見交換会

- ・ 8/1 福島県立安達高等学校
- ・ 8/8 福島県立安積黎明高等学校
- ・ 8/21 双葉町郡山支所

◆放射線教育の支援

- ・ 8/1 福島県立安積黎明高等学校

(質疑応答より)

Q: 放射線の影響を最も受けやすい臓器はどこか？

A: 骨髄、胃、肺、結腸、乳房は細胞分裂が盛んなため放射線感受性が高く、放射線の影響を受けやすい

Q: 放射線は医療以外でも利用されているのか？

A: 建築関係の非破壊検査や空港での手荷物検査、じゃがいもの発芽防止等でも利用されている



8/8 安積黎明高校 廃炉資料館にて



8/21 車座意見交換会の様子

(環境再生プラザ)

市町村や学校などに環境再生に関する情報の提供、専門家派遣・移動展示を行っています
これらの取り組みを通して、地域とのコミュニケーションを推進しています

◆専門家派遣

〈自治体など〉

- ・ 8/20 二本松市生活環境課 (モニタリング)

〈小中学校など〉

- ・ 8/25 福島市立蓬萊中学校 (放射線教育)
- ・ 8/27 福島市立第二小学校 (放射線教育)
- ・ 8/28 福島市教育委員会 (教員研修)

〈その他〉

- ・ 8/5,23 飯舘村長泥地区環境再生事業見学会
- ・ 8/27-28 環境放射能除染研究発表会

◆移動展示

- ・ 8/27 福島市立福島第二小学校
- ・ 8/28 福島市教育委員会教員研修
- ・ 8/27-28 環境放射能除染研究発表会



8/27 福島第二小学校 個人霧箱の作成



8/27 専門家による放射線の基礎講義